



2023年2月8日

各 位

会社名 株式会社ウィルグループ  
代表者名 代表取締役社長 大原 茂  
(コード番号：6089)  
問合せ先 執行役員 高山 智史  
管理本部長  
(TEL. 03-6859-8880)

## 2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2022年5月11日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	140,000	5,600	5,490	3,870	3,330	147.47
今回修正予想 (B)	144,000	5,200	5,050	3,500	3,200	141.68
増減額 (B - A)	+4,000	△400	△440	△370	△130	
増減率 (%)	+2.9%	△7.1%	△8.0%	△9.6%	△3.9%	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	131,080	5,472	5,293	3,854	3,286	147.03

#### 2. 業績予想の修正理由

##### ■売上収益

国内 WORK 事業は、前回予想では第3四半期以降拡大を見込んでいましたが、2022年7月から9月の感染症再拡大によって、新規案件獲得が遅れ、稼働スタッフ数を積み上げることができませんでした。10月以降新規案件の開拓が徐々に進んでいるものの、前回予想の水準には追いつかない見通しとなりました。

海外 WORK 事業は、前回予想では前期末で落ち着くと見込んでいたポストコロナの急激な人材需要が、当第2四半期まで継続したことに加え、為替相場が前回予想（シンガポールドル：79円、オーストラリアドル：78円）に対し、第3四半期決算において円安で進行（シンガポールドル：98円、オーストラリアドル：93円）したことで、プラスの為替影響（約9,000百万円）が生じる見通しです。そのため、売上収益は、前回予想を上回る見通しとなりました。

■営業利益

国内 WORK 事業の売上収益が前回予想を下回る見通しになったことに加え、2023 年 1 月 20 日公表の「当社連結子会社フォースタートアップス株式会社における過年度の決算訂正に対する当社対応のお知らせ」に記載の通り、第 3 四半期に過年度からの支払い漏れの手数料及び違約金（約 400 百万円）を計上したことにより、前回予想を下回る見通しとなりました。

■税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益

営業利益を修正したことにより、前回予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上